

4. 教 務 関 係

- (1) 専攻科の授業科目の履修等に関する規則
- (2) 科目の単位と時間
- (3) 授業終始時刻
- (4) 受講手続き
- (5) 試験と単位認定
- (6) 専攻科修了要件
- (7) 教育プログラム修了要件
- (8) 他の高等教育機関で取得した単位の取扱い
- (9) 宇部工業高等専門学校情報倫理ガイドライン
- (10) 宇部工業高等専門学校学生表彰規則
- (11) 視聴覚教室等特別教室使用心得
- (12) 情報処理センター利用心得

(1) 専攻科の授業科目の履修等に関する規則

(目的)

第1条 この規則は、宇部工業高等専門学校学則第54条第3項及び第56条の規定に基づき、専攻科の授業科目の履修方法及び成績の評価並びに修了の認定等について定めることを目的とする。

(単位の計算方法)

第2条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の各号の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験及び実習については、45時間の授業をもって1単位とする。
- (4) インターンシップについては、別に定める。

(履修方法)

第3条 専攻科に開設する授業科目の履修にあたっては、年度当初に別に定める「履修届」を所定の期日までに、校長に提出しなければならない。

(出欠)

第4条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 欠席 出席すべき日に出校しない場合をいう。
- (2) 欠課 各授業時間を完全に欠いた場合をいう。
- (3) 遅刻 各授業時間に遅れた場合をいう。
- (4) 早退 各授業時間の中で退出した場合をいう。
- (5) 忌引 学生準則第16条に定める事由に該当した場合をいう。

2 遅刻及び早退は、3回をもって欠課1回とする。

(公認欠席)

第5条 次に掲げる欠席（以下「公認欠席」という。）は出席日数に含める。

- (1) 学校感染症発生等のための出席停止
- (2) 父母及び近親の喪に服するための忌引
- (3) 風水害・地震又は火災等の不測の災害による欠席
- (4) 通常の間路及び方法により通学するための交通機関又は交通路の事故等による欠席
- (5) 就職試験、大学院入学試験等のため専攻科長が認めた欠席
- (6) 指導教員が認めた学会発表による欠席
- (7) 学校管理下における負傷等による欠席
- (8) 専攻科委員会が認めた欠席

2 公認欠席願の他必要な証明書を提出しなければならない。

(指導教員)

第6条 専攻科の学生は、各専攻の指導教員から授業科目の履修及び特別研究の指導を受けるものとする。

(試験)

第7条 試験は、定期試験及び追試験とする。

2 定期試験は、各学期内で実施する。

3 追試験は、次の各号の一に掲げる事由により、定期試験を受験することができなかった者で、別に定める「追試験願」を所定の期日までに校長に提出し、その許可を得た者に対し実施する。

(1) 公認欠席または疾病

(2) その他やむを得ない事由があると校長が認めた場合

(成績の評価)

第8条 成績は、授業科目ごとに第7条に規定する試験の成績、その他を総合して評点で評価する。

2 成績の評価は、優 (A)、良 (B)、可 (C) 及び不可 (F) とし、次の評点区分による。

評価	優 (A)	良 (B)	可 (C)	不可 (F)
評点	100～80	79～70	69～60	59以下

3 各授業科目とも欠課時数が授業時数の1/3を超える者に対しては、評価を行わない。
(単位の認定)

第9条 前条第2項の規定に基づき、評価が優、良及び可に評価された授業科目については、当該科目を修得したものとして、単位を認定する。

(再履修)

第10条 単位を認定されなかった授業科目は、再履修することができる。

2 前項で定める再履修は、第3条の規定を準用する。

(他の高等教育機関において履修した単位の認定)

第11条 他の高等教育機関において履修した単位は、16単位を超えない範囲で専攻科における授業科目の履修とみなし、単位の修得を認定することができる。

(修了に必要な単位)

第12条 専攻科の修了に必要な単位数は、62単位以上 (一般科目、専門基礎科目、専門科目の内訳は、学則第52条、別表第3及び別表第4のとおり) 修得するものとする。

(修了認定)

第13条 校長は、学則及びこの規定に基づき、基準に該当する者について、修了認定会議に諮り修了を認定する。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

(省略)

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際、改正後の規則第10条については、平成17年度入学者から適用する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月11日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

(様式省略)

(2) 科目の単位と時間

専攻科のカリキュラムは、一般科目、専門基礎科目及び専門科目からなっています。各授業科目の履修は単位制により実施しており、講義、演習、実験・実習により行われます。

1単位の授業時間は、次の基準により単位数を計算します。

講義科目	15時間の授業で1単位
演習科目	30時間の演習で1単位
実験・実習科目	45時間の実験・実習で1単位

(3) 授業終始時刻

時 限	授 業 時 間		休憩時間
	始業時間	終業時間	
1	8:50		
2		10:20	10分
3	10:30		
4		12:00	
昼休時間	12:00 ~ 12:50		(50分)
5	12:50		
6		14:20	20分
7	14:40		
8		16:10	

(4) 受講手続き

時間割表を参考にして必修科目、選択科目どちらも履修届を（他大学にあっては併せて受講申請も）提出してください。必修科目は、必ず履修して単位を修得しなければならない科目です。選択科目は、開講されている科目の中から選択して履修し、単位を修得する科目です。

選択科目の中からどの科目を履修するかは、指導教員と相談のうえ、各自で決定してください。ただし、各学期に履修できる単位数は、16単位を超えないものとします。（特別研究、集中講義、インターンシップを除く。）

受講科目が決定した学生は、履修届を指定の日時までに学生課教務・入試係に提出してください。

(5) 試験と単位認定

試験は、原則として授業の終了する学期末に行われます。

試験の実施日・時間等は、科目担当教員が連絡します。

合格とならなかった科目のうち、修得する必要がある科目は、原則として再履修しなければなりません。

他の高等教育機関での修得単位については、単位認定申請書を提出し、専攻科委員会で審査の上、専攻科における履修と見なし、16単位(そのうち8単位以上は専攻に係る単位)を超えない範囲で専攻科修得単位として認定されます。(取扱いについては(8)-(1)参照)

単位認定については、履修届を提出した科目のみ認められます。

(6) 専攻科修了要件

専攻科を修了するためには、62単位以上(一般科目、専門基礎科目、専門科目の修得単位数の内訳については、入学年度の教育課程表を参照のこと)修得しなければなりません。

なお、この単位には上記(5)の他の高等教育機関で修得した単位のうち、専攻科修得単位として認定された単位を含みます。

(7) 教育プログラム修了要件

本校には「生産システム工学」、「物質工学」の2つの教育プログラムがあります。生産システム工学専攻の入学者は「生産システム工学」教育プログラムの履修者、物質工学専攻の入学者は「物質工学」教育プログラムの履修者となります。

本校の本科を卒業し専攻科に入学した者は、専攻科を修了しかつ学士の学位を取得することで、教育プログラムの修了となります。ただし、他の高等専門学校を卒業し専攻科に入学した者等、専攻科のカリキュラムだけでは本校の教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。(取扱いについては(8)-(2)参照) この場合、専攻科入学後、本校の本科4、5年の科目を履修して単位を取得する等により、以下に示す要件を満たす必要があります。(取扱いについては(8)-(3)参照)

教育プログラム修了要件(別表1、2参照)

1. 教育プログラムが定めた科目を修得していること。
2. 教育プログラムにおいて、124単位以上修得していること。
3. 教育プログラムにおいて、数学、自然科学及び科学技術に関する内容が全体の60%以上であること。
4. 学士を取得していること(外部評価項目)。

別表1 本プログラムが定めた科目 (2019年度「生産システム工学」教育プログラム)

JABEE 基準1の(2) 本校の 学習・教育 到達目標		(a)	(b)	(c)	(d) 専門分野				(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		地球的視点から多面的に物事を考える能力	技術が社会や自然に及ぼす影響（技術者倫理）	数学・自然科学	(1) プログラム独自の専門工学	(2) 実験計画・遂行・解析・説明・説得能力	(3) 創造性・課題探求・解決能力	(4) 実務問題の理解・対応能力	社会の要求を解決するためのデザイン能力	コミュニケーション能力	自主的・継続的学習能力	まとめの能力	チームで仕事をする能力
(A)	好奇心と持続力			現代物理学 化学応用工学 自然科学関連2単位以上		卒業研究 工学実験系6単位以上		インターンシップ			卒業研究		
(B)	情報技術			②群から1科目以上	情報処理 応用								
(C)	立案能力			①③⑤群からそれぞれ1科目以上	工学特論 I, II		エンジニアリングデザイン I	工学特論 II	エンジニアリングデザイン I		エンジニアリングデザイン I		エンジニアリングデザイン I
(D)	実現能力				特別研究 I, II 専門選択科目Dの中から4単位以上		特別研究 I, II エンジニアリングデザイン II		特別研究 I, II エンジニアリングデザイン II		エンジニアリングデザイン II	特別研究 I, II	エンジニアリングデザイン II
(E)	解析能力			線形代数 数学関連2単位以上 ④群から1科目以上	工学複合 実験 専門選択科目Eの中から4単位以上	工学複合 実験						工学複合 実験	工学複合 実験
(F)	環境と技術者倫理	環境と社会 人文社会科学系3科目以上	技術者倫理										
(G)	コミュニケーション能力									特別研究 I, II (学協会等での発表) 英語表現 日本語表現 英語 語学から4科目以上		特別研究 I, II (学協会等での発表)	

別表2-1 プログラムに係わる科目の分類(2019年度 機械工学科用)

授業科目			学年配当 4年 5年	学習・教育到達目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考
						人文・社会科学(語学を含む)		数学 自然科学 科学技術			
						語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目	
必修科目	微分方程式A	1		(E)	(c)			○			
	微分方程式B	1		(E)	(c)			○			
	応用数学A	1		(E)	(c)			○			
	応用数学B	1		(E)	(c)			○			
	応用物理II A	1		(A)	(c)				○		
	応用物理II B	1		(A)	(c)				○		
	情報処理言語II	1		(B)	(c)					②	
	情報処理応用I		1	(B)	(c)					②	
	情報処理応用II		1	(B)	(c)					②	
	材料力学II A	1		(E)	(c)					④	
	材料力学II B	1		(E)	(c)					④	
	材料学II		1	(C)	(c)					③	
	熱力学A	1		(E)	(c)					④	
	熱力学B	1		(E)	(c)					④	
	水力学A	1		(E)	(c)					④	
	水力学B	1		(E)	(c)					④	
	工業力学II A	1		(E)	(c)					④	
	工業力学II B	1		(E)	(c)					④	
	流体工学I		1	(E)	(c)					④	
	伝熱工学I		1	(E)	(c)					④	
	伝熱工学II		1	(E)	(c)					④	
	計測工学A	1		(C)	(c)					①	
	計測工学B	1		(C)	(c)					①	
	自動制御		1	(C)	(c)					①	
	振動工学		1	(E)	(c)					④	
	電気工学I	1		(C)	(c)					①	
	電気工学II		1	(C)	(c)					①	
	論理回路		1	(B)	(c)					②	
	設計法I	1		(C)	(c)					①	
	設計法II		2	(C)	(c)					①	
設計製図・CADIV	3		(C)	(c)					①		
設計製図・CADV		1	(C)	(c)					①		
特別講義		1	(D)	(d)-(1)						○	
工学実験	1		(A)	(d)-(2)						○	
応用工学実験I	2		(A)	(d)-(2)						○	
応用工学実験II		3	(A)	(d)-(2)						○	
卒業研究		10	(A)	(d)-(2), (g)						○	
修得単位計	25	27									
選択科目	加工学		1	(C)	(c)					①	
	基礎材料強度学		1	(C)	(c)					③	
	材料力学III		1	(E)	(c)					④	
	流体工学II		1	(E)	(c)					④	
	基礎ロボット工学		1	(C)	(c)					①	
	工業英語		1	(G)	(f)		○				
	計算力学		1	(E)	(c)					④	
	機械製造業概論		1	(A)	(d)-(4)						○
	校外実習I		1	(A)	(d)-(4)						○
	校外実習II		3	(A)	(d)-(4)						○
	地域教育		1	(D)	(d)-(4)						○
	海外研修		1	(G)	(f)						○
外部授業科目		4									
修得単位計		3以上									
修得単位合計		55以上									

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること。
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-2 プログラムに係わる科目の分類 (2019年度 電気工学科用)

授業科目	学年配当		学習・教育到達目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考
	4年	5年			人文・社会科学(語学を含む)		数学・自然科学・科学技術			
					語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目	
微分方程式A	1		(E)	(c)			○			
微分方程式B	1		(E)	(c)			○			
応用数学A	1		(E)	(c)			○			
応用数学B	1		(E)	(c)			○			
応用物理ⅡA	1		(A)	(c)				○		
応用物理ⅡB	1		(A)	(c)				○		
電気回路Ⅲ	1		(C)	(c)				①		
情報処理Ⅲ	1		(B)	(c)				②		
電子回路ⅠA	1		(C)	(c)				①		
電子回路ⅠB	1		(C)	(c)				①		
通信工学Ⅰ	1		(B)	(c)				②		
マイコンA	1		(B)	(c)				②		
マイコンB	1		(B)	(c)				②		
制御工学Ⅰ	1		(C)	(c)				①		
制御工学Ⅱ	1		(C)	(c)				①		
制御工学Ⅲ		1	(C)	(c)				①		
電気機器ⅡA	1		(E)	(c)				④		
電気機器ⅡB	1		(E)	(c)				④		
発変電工学A	1		(C)	(c)				①		
発変電工学B	1		(C)	(c)				①		
送配電工学		1	(C)	(c)				①		
数値計算法		1	(B)	(c)				②		
電気材料Ⅰ		1	(C)	(c)				③		
工学実習	2		(A)	(d)-(2)					○	
電気工学実験実習Ⅲ	4		(A)	(d)-(2)					○	
電気工学実験実習Ⅳ		2	(A)	(d)-(2)					○	
特別講義		1	(D)	(d)-(1)					○	
卒業研究		10	(A)	(d)-(2), (g)					○	
修得単位計	25	17								
電気製図Ⅰ		1	(C)	(c)				①		
電気製図Ⅱ		1	(C)	(c)				①		
基礎情報理論		1	(B)	(c)				②		
高電圧工学		1	(C)	(c)				①		
電気法規		1	(C)	(c)				⑤		
電気設計		1	(C)	(c)				①		
生産システム工学		1	(C)	(c)				①		
電子回路Ⅱ		1	(C)	(c)				①		
電気機器応用		1	(E)	(c)				④		
電気材料Ⅱ		1	(C)	(c)				③		
光エレクトロニクス		1	(C)	(c)				①		
通信工学Ⅱ		1	(B)	(c)				②		
コンピュータネットワーク		1	(B)	(c)				②		
応用情報処理		1	(B)	(c)				②		
工業英語		1	(G)	(f)		○				
校外実習Ⅰ	1		(A)	(d)-(4)					○	
校外実習Ⅱ	3		(A)	(d)-(4)					○	
地域教育	1		(D)	(d)-(4)					○	
海外研修	1		(G)	(f)					○	
外部授業科目		4								
修得単位計		12以上								
修得単位合計		54以上								

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-3 プログラムに係わる科目の分類 (2019年度 制御情報工学科用)

授業科目	学年配当		学習・教育到達目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考	
	4年	5年			人文・社会科学(語学を含む)		数学・自然科学・科学技術				
					語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目		
微分方程式A	1		(E)	(c)			○				
微分方程式B	1		(E)	(c)			○				
応用数学A	1		(E)	(c)			○				
応用数学B	1		(E)	(c)			○				
応用物理ⅡA	1		(A)	(c)				○			
応用物理ⅡB	1		(A)	(c)				○			
プログラミングⅢ	1		(B)	(c)				②			
通信工学A	1		(B)	(c)				②			
通信工学B	1		(B)	(c)				②			
ソフトウェア工学		1	(B)	(c)				②			
数値計算	1		(B)	(c)				②			
生体情報学		1	(C)	(c)				③			
情報理論		1	(B)	(c)				②			
計算機工学A		1	(B)	(c)				②			
計算機工学B		1	(B)	(c)				②			
論理回路	1		(B)	(c)				②			
センサとアクチュエータ	1		(C)	(c)				①			
計測工学Ⅰ	1		(C)	(c)				①			
計測工学ⅡA		1	(C)	(c)				①			
計測工学ⅡB		1	(C)	(c)				①			
制御工学ⅠA	1		(C)	(c)				①			
制御工学ⅠB	1		(C)	(c)				①			
制御工学ⅡA		1	(C)	(c)				①			
制御工学ⅡB		1	(C)	(c)				①			
基礎ロボット工学		1	(C)	(c)				①			
工業力学A	1		(E)	(c)				④			
工業力学B	1		(E)	(c)				④			
創造製作・実験	4		(A)	(d)-(2), (g)					○		
工学実験		5	(A)	(d)-(2)					○		
特別講義	1		(D)	(d)-(1)					○		
卒業研究Ⅰ	3		(A)	(d)-(2), (g)					○		
卒業研究Ⅱ		10	(A)	(d)-(2), (g)					○		
修得単位計	25	25									
選択科目	知能情報論		1	(B)	(c)				②		
	符号理論		1	(B)	(c)				②		
	画像処理		1	(B)	(c)				②		
	画像応用工学		1	(B)	(c)				②		
	信号処理		1	(B)	(c)				②		
	音響工学		1	(B)	(c)				②		
	デジタル通信		1	(B)	(c)				②		
	ソフトウェア検証		1	(B)	(c)				②		
	応用電子回路		1	(B)	(c)				②		
	校外実習Ⅰ		1	(A)	(d)-(4)					○	
	校外実習Ⅱ		3	(A)	(d)-(4)					○	
	地域教育		1	(D)	(d)-(1)					○	
	海外研修		1	(G)	(f)					○	
	外部授業科目		4								
修得単位計		4以上									
修得単位合計		52以上									

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-4 プログラムに係わる科目の分類 (2019年度 一般科目 (本科) 用)

授業科目	学年配当		学習・教育到達目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考	
	4年	5年			人文・社会科学 (語学を含む)		数学 自然科学 科学技術				
					語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目		
必修科目	国語Ⅳ	1		(G)	(f)	○					
	法学A	1		(F)	(a)		○				
	法学B	1		(F)	(a)		○				
	社会科学Ⅰ		1	(F)	(a)		○				
	社会科学Ⅱ		1	(F)	(a)		○				
	英語演習ⅠB-1	1		(G)	(f)	○					
	英語演習ⅠB-2	1		(G)	(f)	○					
	英語演習ⅠC		1	(G)	(f)	○					
	中国語Ⅰ	2		(G)	(f)	○					
	修得単位計	7	3								
選択科目	資格英語演習	2		(G)	(f)	○					
	イングリッシュコミュニケーションⅡ	2		(G)	(f)	○					
	ドイツ語	2		(G)	(f)	○					
	中国語Ⅱ		2	(G)	(f)	○					
	修得単位計	2以上									
修得単位合計	12以上										

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-5 プログラムに係わる科目の分類 (2019年度 生産システム工学専攻用)

	授業科目	学年配当		学習・教育到達目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考	
		1年	2年			人文・社会科学 (語学を含む)		数学 自然科学 科学技術				
						語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目		
一般科目	日本語表現	2		(G)	(f)	○						
	英語表現	2		(G)	(f)	○						
	英語	2		(G)	(f)	○						
	環境と社会	2		(F)	(a)		○					
	技術者倫理	2		(F)	(b)		○					
	修得単位計	10以上※										
専門基礎科目	線形代数	2		(E)	(c)			○				
	現代物理学	2		(A)	(c)				○			
	化学応用工学	2		(A)	(c)				○			
	情報処理応用	2		(B)	(d)-(1)					○		
	環境科学	2		(A)	(c)				○		1科目 2単位 以上	
	生命科学	2		(A)	(c)				○			
経営管理工学	2		(C)	(c)				⑤		1科目 2単位 以上		
MOT入門		2	(C)	(c)				⑤				
修得単位計	12以上※											
専門科目	工学特論Ⅰ	2		(C)	(d)-(1)					○		
	工学特論Ⅱ	2		(C)	(d)-(1), (d)-(4)					○		
	エンジニアリングデザインⅠ	1		(C)	(d)-(3), (e), (g), (i)					○		
	エンジニアリングデザインⅡ	2		(D)	(d)-(3), (e), (g), (i)					○		
	工学複合実験	1		(E)	(d)-(1), (d)-(2), (h), (i)					○		
	インターンシップ	3-12		(A)	(d)-(4)					○		
	特別研究Ⅰ	7		(D), (G)	(d)-(1), (d)-(3), (e), (h)					○		
	特別研究Ⅱ		7	(D), (G)	(d)-(1), (d)-(3), (e), (h)					○		
	計測システム工学	2		(D)	(d)-(1)					○	2科目 4単位 以上	
	オペレーティングシステム工学	2		(D)	(d)-(1)					○		
	情報通信ネットワーク	2		(D)	(d)-(1)					○		
	情報通信ネットワーク応用	2		(D)	(d)-(1)					○		
	符号理論応用	2		(D)	(d)-(1)					○		
	ネットワーク技術特論	2		(D)	(d)-(1)					○		
	材料強度学	2		(D)	(d)-(1)					○		
トライボロジー	2		(D)	(d)-(1)					○			
材料組織学	2		(D)	(d)-(1)					○			
システム制御工学	2		(D)	(d)-(1)					○			
ロボット工学	2		(D)	(d)-(1)					○			
電力工学	2		(D)	(d)-(1)					○			
パワーエレクトロニクス	2		(D)	(d)-(1)					○			
エネルギープロセス工学	2		(D)	(d)-(1)					○			
無機機能材料工学	2		(D)	(d)-(1)					○			
制御理論	2		(E)	(d)-(1)					○	2科目 4単位 以上		
画像処理応用	2		(E)	(d)-(1)					○			
量子力学	2		(E)	(d)-(1)					○			
電磁気学理論	2		(E)	(d)-(1)					○			
非線形微分方程式-カオス入門-	2		(E)	(d)-(1)					○			
弾塑性力学	2		(E)	(d)-(1)					○			
応用流体工学	2		(E)	(d)-(1)					○			
解析力学	2		(E)	(d)-(1)					○			
伝熱特論	2		(E)	(d)-(1)					○			
電子回路設計解析学	2		(E)	(d)-(1)					○			
計算機応用計測	2		(E)	(d)-(1)					○			
半導体電子物性	2		(E)	(d)-(1)					○			
光物性基礎論	2		(E)	(d)-(1)					○			
修得単位計	33以上※											
修得単位合計	62以上											

※ 他の高等教育機関において修得した単位を含める。
 (注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表1 本プログラムが定めた科目 (2019年度「物質工学」教育プログラム)

JABEE 基準1の(2) 本校の 学習・教育 到達目標		(a)	(b)	(c)	(d) 専門分野				(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		地球的視点から多面的に物事を考える能力	技術が社会や自然に及ぼす影響(技術者倫理)	数学・自然科学	(1) 工学基礎知識・問題解決能力	(2) 化学工学基礎知識・問題解決能力	(3) 化学関連基礎知識・実験技術・問題解決能力	(4) 応用・デザイン・マネジメント能力	社会の要求を解決するためのデザイン能力	コミュニケーション能力	自主的・継続的学習能力	まとめの能力	チームで仕事をする能力
(A)	好奇心と持続力			現代物理学 自然科学 関連2単位以上		化学工学 実験 専門基礎 関連4単位以上 物理化学 実験	インター ンシップ 卒業研究 専門関連 (実験、 ゼミ) 8 単位以上				卒業研究		
(B)	情報技術			情報処理 基礎、情 報処理応 用から2 単位以上 工学基礎 関連4単 位以上									
(C)	立案能力			工学特論 I、II 経営管理 工学、MOT 入門から 2単位以上	化学工学 基礎関連 4単位以上	専門基礎 関連7単 位以上	物質工学 エンジニア リング デザイン	物質工学 エンジニア リング デザイン					
(D)	実現能力						特別研究 I、II 特別講義 専門選択 科目Dの 中から4 単位以上	特別研究 I、II		物質工学 エンジニア リング デザイン	特別研究 I、II	物質工学 エンジニア リング デザイン	
(E)	解析能力			線形代数 数学関連 2単位以上	工学基礎 関連1単 位以上		物質工学 総合実験 専門選択 科目Eの 中から4 単位以上				物質工学 総合実験	物質工学 総合実験	
(F)	環境と 技術者倫理	環境と社会 人文社会 科学系3 単位以上	技術者倫理	環境科学									
(G)	コミュニケーション 能力								特別研究 I、II (学協会 等での発 表) 日本語表 現 英語表現 英語 語学系8 単位以上		特別研究 I、II (学協会 等での発 表)		

別表2-1 プログラムに係わる科目の分類 (2019年度 物質工学科用)

授業科目	学年配当		学習・教育到達目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類				備考	
	4年	5年			人文・社会科学(語学を含む)		数学 自然科学 科学技術			
					語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目		科学技術関連科目
微分方程式	1		(E)	(c)			○			
応用数学Ⅱ	1		(E)	(c)			○			
応用物理Ⅲ	1		(A)	(c)				○		
応用物理Ⅳ	1		(A)	(c)				○		
物理化学Ⅲ	1		(A)	(d)-(3)					○	
物理化学Ⅳ	1		(A)	(d)-(3)					○	
有機化学Ⅳ	1		(A)	(d)-(3)					○	
基礎機械工学	1		(E)	(d)-(1)					○	
基礎電子工学Ⅰ		1	(B)	(d)-(1)					○	
基礎電子工学Ⅱ		1	(B)	(d)-(1)					○	
情報処理Ⅲ	1		(B)	(d)-(1)					○	
情報処理Ⅳ	1		(B)	(d)-(1)					○	
情報処理Ⅴ		1	(B)	(d)-(1)					○	
情報処理Ⅵ		1	(B)	(d)-(1)					○	
化学工学Ⅱ	1		(C)	(d)-(2)					○	
化学工学Ⅲ		1	(C)	(d)-(2)					○	
化学工学Ⅳ		1	(C)	(d)-(2)					○	
機器分析Ⅰ	1		(C)	(d)-(3)					○	
機器分析Ⅱ	1		(C)	(d)-(3)					○	
物理化学実験	2		(A)	(d)-(3)					○	
化学工学実験	2		(A)	(d)-(2)					○	
基礎物質工学演習	1		(A)	(d)-(3)					○	
工業英語Ⅰ		1	(G)	(f)	○					
工業英語Ⅱ		1	(G)	(f)	○					
物質工学ゼミ	2		(A)	(d)-(4)					○	
特別講義		1	(D)	(d)-(4)					○	
卒業研究		10	(A)	(d)-(4), (g)					○	
修得単位計	20	19								
物質コース必修	無機材料工学Ⅰ		1	(C)	(d)-(3)					○
	無機材料工学Ⅱ		1	(C)	(d)-(3)					○
	高分子化学Ⅰ	1		(C)	(d)-(3)					○
	高分子化学Ⅱ	1		(C)	(d)-(3)					○
	合成化学		1	(A)	(d)-(3)					○
	化学反応工学		1	(C)	(d)-(2)					○
	物質工学演習		2	(A)	(d)-(4)					○
	化学反応工学実験		2	(A)	(d)-(4)					○
	物質工学実験		2	(A)	(d)-(4)					○
修得単位計	4	8								
生物コース必修	生物化学Ⅲ	1		(C)	(d)-(3)					○
	生物化学Ⅳ	1		(C)	(d)-(3)					○
	遺伝子・細胞工学		1	(C)	(d)-(3)					○
	分子生物学Ⅰ		1	(C)	(d)-(3)					○
	分子生物学Ⅱ		1	(C)	(d)-(3)					○
	生物反応工学		1	(C)	(d)-(2)					○
	生物工学演習		2	(A)	(d)-(4)					○
	生物反応工学実験		2	(A)	(d)-(4)					○
生物工学実験		2	(A)	(d)-(4)					○	
修得単位計	4	8								
共通選択	制御工学		1	(C)	(d)-(2)					○
	界面化学		1	(A)	(d)-(3)					○
	食品工学		1	(C)	(d)-(3)					○
	校外実習Ⅰ		1	(A)	(d)-(4)					○
	校外実習Ⅱ		1	(A)	(d)-(4)					○
	地域教育		1	(D)	(d)-(4)					○
	海外研修		1	(G)	(f)					○
	外部授業科目		4							
修得単位計		2以上								
修得単位合計		54以上								

別表2-2 プログラムに係わる科目の分類 (2019年度 一般科目 (本科) 用)

授 業 科 目			学 習 ・ 教 育 到 達 目 標 の 分 類		J A B E E 基 準 の 分 類	科 目 分 類					備 考
						人 文 ・ 社 会 科 学 (語 学 を 含 む)		数 学 自 然 科 学 科 学 技 術			
						語 学 系 科 目	人 文 ・ 社 会 科 学 系 科 目	数 学 関 連 科 目	自 然 科 学 関 連 科 目	科 学 技 術 関 連 科 目	
学 年 配 当		4 年	5 年								
必 修 科 目	国語Ⅳ	1		(G)	(f)	○					
	法学A	1		(F)	(a)		○				
	法学B	1		(F)	(a)		○				
	社会科学Ⅰ		1	(F)	(a)		○				
	社会科学Ⅱ		1	(F)	(a)		○				
	英語演習ⅠB-1	1		(G)	(f)	○					
	英語演習ⅠB-2	1		(G)	(f)	○					
	英語演習ⅠC		1	(G)	(f)	○					
	中国語Ⅰ	2		(G)	(f)	○					
修得単位計		7	3								
選 択 科 目	資格英語演習	2		(G)	(f)	○					
	イングリッシュコミュニケーションⅡ	2		(G)	(f)	○					
	ドイツ語	2		(G)	(f)	○					
	中国語Ⅱ		2	(G)	(f)	○					
	修得単位計		2以上								
修得単位合計		12以上									

別表2-3 プログラムに係わる科目の分類 (2019年度 物質工学専攻用)

授業科目			学年配当 1年 2年		学習・教育到達目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考
							人文・社会科学 (語学を含む)		数学 自然科学 科学技術			
							語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目	
一般科目	必修	日本語表現	2		(G)	(f)	○					
		英語	2		(G)	(f)	○					
		英語表現	2		(G)	(f)	○					
		環境と社会	2		(F)	(a)		○				
		技術者倫理	2		(F)	(b)		○				
		修得単位計	10以上※									
専門基礎科目	必修	線形代数	2		(E)	(c)			○			
		現代物理学	2		(A)	(c)			○			
		環境科学	2		(F)	(c)			○			
	選択	エネルギープロセス工学	2		(D)	(d)-(4)				○		} 1科目 2単位以上
		生命科学	2		(A)	(c)			○			
		情報処理基礎	2		(B)	(d)-(1)				○		} 1科目 2単位以上
		情報処理応用	2		(B)	(d)-(1)				○		
		経営管理工学	2		(C)	(d)-(1)				○		} 1科目 2単位以上
MOT入門		2	(C)	(d)-(1)				○				
修得単位計	12以上※											
専門科目	必修	工学特論Ⅰ	2		(C)	(d)-(1)				○		
		工学特論Ⅱ	2		(C)	(d)-(1)				○		
		物質工学エンジニアリングデザイン	3		(C), (D)	(d)-(4), (e), (g), (i)				○		
		物質工学総合実験	1		(E)	(d)-(4), (h), (i)				○		
		インターンシップ	3-12		(A)	(d)-(4)				○		
		特別研究Ⅰ	7		(D), (G)	(d)-(4), (e), (f), (h)				○		
		特別研究Ⅱ		7	(D), (G)	(d)-(4), (e), (f), (h)				○		
	選択	無機機能材料工学	2		(D)	(d)-(4)				○		} 2科目 4単位以上
		生体触媒工学	2		(D)	(d)-(4)				○		
		材料有機化学	2		(D)	(d)-(4)				○		
		栄養生化学	2		(D)	(d)-(4)				○		
		反応工学	2		(E)	(d)-(4)				○		} 2科目 4単位以上
		有機合成化学	2		(E)	(d)-(4)				○		
		コロイド科学	2		(E)	(d)-(4)				○		
無機溶液化学		2	(E)	(d)-(4)				○				
修得単位計	33以上※											
修得単位合計			62以上									

※ 他の高等教育機関において修得した単位を含める。

(8) 他の高等教育機関で取得した単位の取扱い

他の高等教育機関で取得した単位は、以下のように取り扱います。

- (1) 本校の学生が他の高等教育機関で取得した単位について、内容が本校の学習・教育到達目標及び各専攻の教育目的に合っている科目については単位を認定します。他学校等から本校の専攻科へ入学した学生の既修得単位について、次の各号の条件をすべて満たした科目については単位を認定します。
 - ① 授業内容が「生産システム工学」もしくは「物質工学」教育プログラムに合っていること。
 - ② JABEE 認定を受けた教育プログラムの科目であること。または、JABEE 認定を受けていない教育プログラムの科目では試験等を行い、本校の教育レベルと同等以上と判定されたものであること。
- (2) 専攻科に入学した学生で、「生産システム工学」もしくは「物質工学」教育プログラムを修了するために本科の単位数又は学習時間が不足することが生じた場合は、以下の方法で補うことができます。
 - ① (8)の(1)に示す他の高等教育機関で履修し単位を取得する。
 - ② 本校本科の授業科目を履修し単位を取得する。

(9) 宇部工業高等専門学校情報倫理ガイドライン

このガイドラインは、本校教職員及び学生が、コンピュータや携帯電話などの情報システムを利用する際の遵守事項です。この遵守事項に違反すると、本人はもとより学校の名譽を傷つけ、信用を失墜させるだけでなく、法的な問題に発展する可能性がありますので、十分注意してください。

本校所有のコンピュータ、ネットワーク回線等の情報システムは、教職員においては本校における業務（教育、研究、事務処理等）学生においては本来の学生活動（勉学、研究、課外活動等）以外の目的に使用してはならない。

名譽毀損、誹謗中傷、人権侵害、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントになるような情報を発信してはならない。

校内の情報を、パソコンやメモリー媒体に入れて外部に持ち出してはならない。

他人のプライバシーや著作権、肖像権、知的所有権等を侵害してはならない。

個人情報や本校の機密事項等を外部に漏らしてはならない。

法令やモラルに反する方法で、情報の取得又は発信をしてはならない。

虚偽の情報や公序良俗に反する情報を発信してはならない。

情報システムの円滑な利用・運用の妨げとなる行為をしてはならない。

たとえば、次の行為は情報倫理ガイドライン違反です。十分気をつけてください。

- ・クラス名簿をインターネット上で公開した。
- ・インターネット上の掲示板に、他人の悪口や噂話を書き込んだ。
- ・ファイル交換ソフトにより、違法に公開された映画、音楽、画像等のファイルをダウンロードした。さらにダウンロードしたファイルを自分も公開した。
- ・故意にウィルスを添付したメールを送った。
- ・自分のアカウントを他人に貸した。また、他人のアカウントを使った。

パスワードを他人に教えたり、他人から見える場所に貼り付けることの無いよう、パスワードは各自で厳重に管理してください。

(10) 宇部工業高等専門学校学生表彰規則

(趣旨)

第1条 この規則は宇部工業高等専門学校学則第38条第2項の規定に基づき、本校の学生の表彰について定めるものとする。

(表彰)

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行うものとする。

- (1) 3年間を通じて、学業、人物ともに優秀な者
- (2) 卒業又は修了時において、学業、人物ともに優秀な者
- (3) 卒業時において、5年間を通じて皆勤の者
- (4) TOEIC等の資格試験において優秀な成績を収めた者
- (5) 課外活動に卓越した成果を収めた者
- (6) その他学生の模範として推奨できる行為又は功労のあった者

2 学校主催行事における成績の顕著な者の表彰については、別に定める。

(表彰の推薦)

第3条 前条第1項の表彰に該当すると認められる者のあった場合、教職員は、校長補佐(教務主事)、校長補佐(学生主事)又は校長補佐(寮務主事)等を経て、表彰推薦書(別紙様式1)により推薦することができる。

(表彰の決定)

第4条 表彰は、第2条第1項第1号及び第1項第3号にあつては教務委員会、同条第1項第2号及び第4号にあつては教務委員会又は専攻科委員会、同条第1項第5号にあつては学生委員会、同条第1項第6号にあつては各所管委員会の議を経て、校長が決定するものとする。

(表彰の時期)

第5条 第2条第1項第1号に規定する表彰は第4学年の前期に、同条第1項第2号及び第3号に規定する表彰は卒業又は修了時に、同条第1項第4号から第6号に規定する表彰は、その都度行うものとする。

(授与)

第6条 校長は、第4条の規定により表彰を決定したときは、表彰状を授与するものとする。

2 前項の表彰状授与にあわせて、記念品を贈呈することができる。

3 表彰状の様式は、次の各号に定めるとおりとする。

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 第2条第1項第1号の表彰 | 別紙様式2 |
| (2) 第2条第1項第2号の表彰 | 別紙様式3 |
| (3) 第2条第1項第3号の表彰 | 別紙様式4 |

- (4) 第2条第1項第4号及び第5号の表彰 別紙様式5
- (5) 第2条第1項第6号の表彰 その都度定める様式

(その他)

第7条 学生の表彰について、この規則によりがたい場合は、その都度関係機関で協議するものとする。

附 則

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

(省略)

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

(11) 視聴覚教室等特別教室使用心得

- 1 視聴覚教室等特別教室（「特別教室」とは、視聴覚教室、マルチメディア学習室及び合同講義室等、ホームルーム以外の教室をいう。以下同じ。）は、正規の授業のほか、課外講義、講演、演習、研究発表などの学習及び研修のために使用するものとする。
- 2 使用を希望する場合は、使用責任者があらかじめ教務・入試係に使用申込みをすること。
 - (1) 使用責任者とは、講義等を直接担当する教職員又は学生会のクラブ若しくは、同好会等の指導教員をいう。
 - (2) 使用申込みは、使用希望者（団体）の名称及び使用日時を明確にして行うものとする。
- 3 使用時間は、授業に使用するもののほかは、原則として、次のとおりとする。

平日	8時30分～18時15分
休日	10時00分～18時00分（長期休業中などを除く。）

特別教室の使用において、やむを得ず前述の時間を超過する場合（特別に企画される講義、演習等）には、あらかじめ教務・入試係へ申し出た上、使用責任者は、図書館棟玄関の施錠その他必要な事項を申し受けるものとする。
- 4 特別教室の機器、器具等の取扱いについては、次による。
 - (1) 視聴覚教室倉庫には、指導教員又は関係教職員以外の者の入室を禁ずる。
 - (2) 特別教室内の装置は、すべて指導教員及び関係教職員が操作する。ただし、楽器類については、この限りではない。
- 5 使用にあたっての注意事項は、おおむね次のとおりとする。
 - (1) 使用責任者は、原則として終始指導監督すること。
 - (2) 飲食及び他人の迷惑になる行為（大きな声で話す等）をしないこと。
 - (3) 施設、備品等一切の保存に十分留意し、破損又は汚損のあった場合には、使用責任者は直ちに教務・入試係へその旨を届け出ること。
 - (4) 使用後は、部屋の状態を必ず使用前の状態に復し、照明、冷暖房等使用した電気機器類は必ず電源を切ること。また、窓及び扉の戸締まりと必要な施錠を行うこと。
 - (5) 平日の18時以降及び休日においては、警務員室にて鍵の受け渡しを行うこと。

附 則

この心得は、昭和46年4月1日から施行する。

（省略）

附 則

この心得は、平成23年3月1日から施行する。

附 則

この心得は、平成29年2月9日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

(12) 情報処理センター利用心得

1 利用者の範囲

- (1) 本校の教職員及び学生
- (2) 校長の承認を得た者

2 利用手続

- (1) 演習室の利用に当たっては情報処理センター・スタッフの指示に従わなければならない。
- (2) その他の情報処理センター施設を利用しようとする者は、別に定める利用願を学術情報室長に提出し、許可を得なければならない。

3 基幹システムの操作者の範囲

- (1) 技術職員
- (2) 本校の教職員で基幹システムの操作に十分な能力を有すると情報処理センター委員会が認めた者

4 利用時間

- (1) 利用時間は以下のとおりとする。

平 日	午前 8 時 30 分から午後 6 時 15 分まで
土・日・祝日	午後 0 時から午後 4 時まで

(長期休業中などを除く)
- (2) 学術情報室長が必要と認めた場合は、前号の規定にかかわらず、利用時間を変更することがある

5 その他

- (1) 能率的に実習を行い、雑談・飲食等をしないこと。
- (2) 機械が故障した場合は、直ちに情報処理センター・スタッフに報告し、その指示に従わなければならない。

附 則

この心得は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

(省略)

附 則

この心得は、平成 30 年 5 月 8 日から施行し、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。